

2 2. 入院患者の転倒・転落発生率

算式

$$\frac{\begin{array}{l} \text{【分子】} \quad \text{入院中患者に発生した転倒・転落件数} \\ \text{（労災病院グループにおけるインシデント・アクシデントレベル3 a以上の事例に限る。）} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{【分母】} \quad \text{入院患者延数} \end{array}} \times 1000$$

定義

入院患者の転倒・転落発生割合

指標の解説

施設調査より抽出

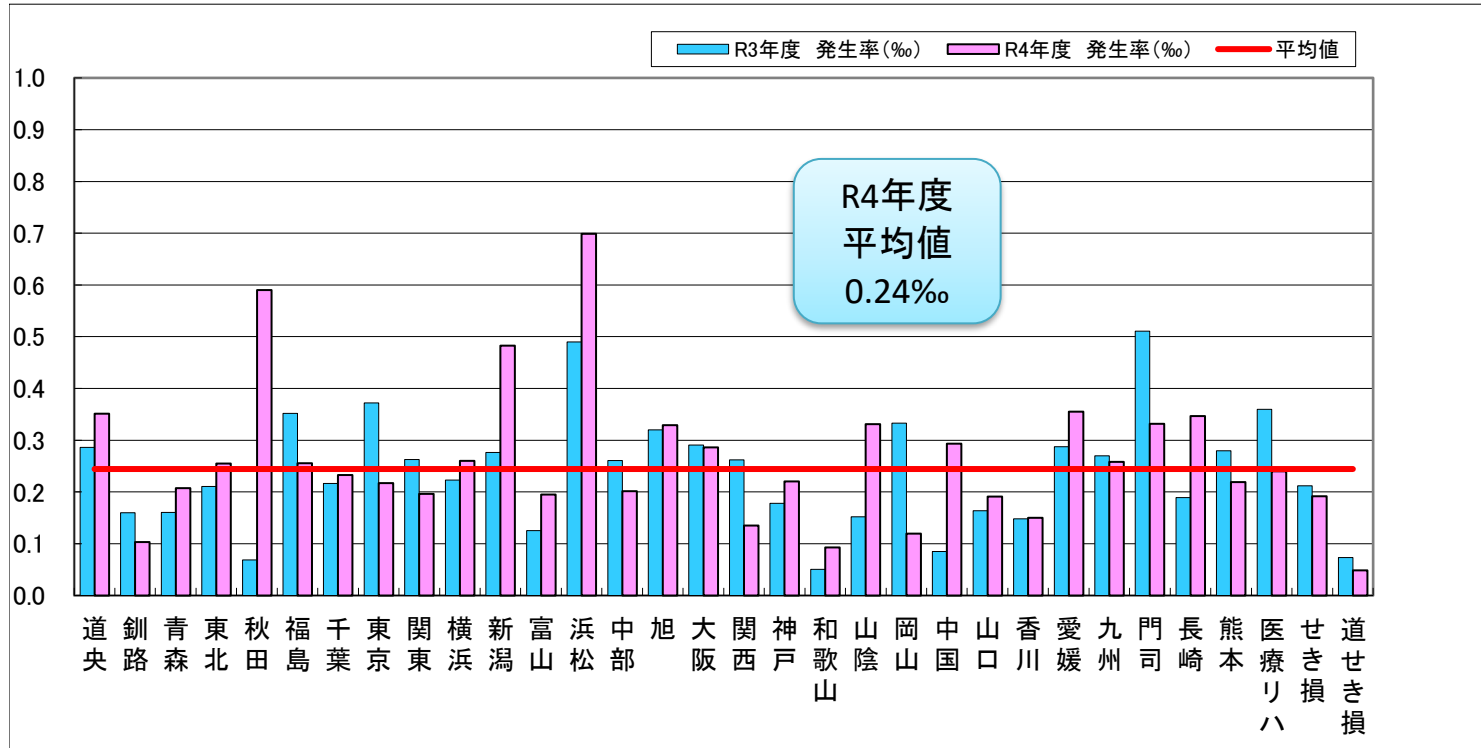
安全で質の高い医療の提供に関して、医療安全対策への取組みについて入院患者の転倒・転落の発生状況から評価する。

インシデント・アクシデント事例の中で転倒・転落件数が最も多く、各病院では医療安全対策の取組みとして転倒・転落のリスクをアセスメントして予防策を立案・実行している。

転倒・転落発生率が低い場合には、転倒・転落予防に積極的に取り組み、またその効果が表れていると評価できる。

※ ‰ = 1000分の1

2.2. 入院患者の転倒・転落発生率



No	施設名	R3年度			R4年度		
		分母	分子	発生率(%)	分母	分子	発生率(%)
1	道 央	48,919	14	0.29	45,566	16	0.35
2	釧 路	118,644	19	0.16	116,503	12	0.10
3	青 森	68,572	11	0.16	67,416	14	0.21
4	東 北	128,309	27	0.21	125,478	32	0.26
5	秋 田	43,676	3	0.07	38,963	23	0.59
6	福 島	85,186	30	0.35	90,013	23	0.26
7	千 葉	110,994	24	0.22	111,687	26	0.23
8	東 京	86,074	32	0.37	92,139	20	0.22
9	関 東	152,360	40	0.26	152,921	30	0.20
10	横 浜	165,723	37	0.22	176,816	46	0.26
11	新 潟	32,573	9	0.28	28,989	14	0.48
12	富 山	63,964	8	0.13	56,344	11	0.20
13	浜 松	83,696	41	0.49	82,968	58	0.70
14	中 部	126,531	33	0.26	134,073	27	0.20
15	旭	62,533	20	0.32	66,807	22	0.33
16	大 阪	171,833	50	0.29	192,133	55	0.29
17	関 西	183,130	48	0.26	184,967	25	0.14
18	神 戸	78,517	14	0.18	81,684	18	0.22
19	和 歌 山	98,457	5	0.05	97,146	9	0.09
20	山 陰	98,598	15	0.15	99,669	33	0.33
21	岡 山	84,040	28	0.33	83,725	10	0.12
22	中 国	105,953	9	0.08	102,368	30	0.29
23	山 口	79,427	13	0.16	83,794	16	0.19
24	香 川	114,849	17	0.15	106,694	16	0.15
25	愛 媛	52,157	15	0.29	45,033	16	0.36
26	九 州	118,561	32	0.27	124,061	32	0.26
27	門 司	48,954	25	0.51	45,190	15	0.33
28	長 崎	79,237	15	0.19	80,781	28	0.35
29	熊 本	121,681	34	0.28	123,195	27	0.22
30	医 療 リ ハ	25,003	9	0.36	24,987	6	0.24
31	せ き 損	47,243	10	0.21	46,945	9	0.19
32	道 せ き 損	40,951	3	0.07	41,277	2	0.05
合 計		2,926,345	690	0.24	2,950,332	721	0.24
平 均	500 床 以 上	154,648	39	0.25	161,065	36	0.22
	400 床 以 上	110,960	24	0.21	110,827	23	0.21
	300 床 以 上	88,684	21	0.23	90,163	25	0.27
	300 床 未 満	48,595	12	0.24	46,138	13	0.29